

## 福原京・平家ゆかりの地を訪ねて

令和5年5月25日(木)

コース

神戸文化ホール 10:00 出発→大倉山公園(伊藤博文銅像の台座)→荒田八幡神社→浄海平清盛像→若武者・平清盛像→塞神の松広場→六道の辻→祇園神社→湊川温泉→雪見御所跡→NATURESTUDIO(湊川小学校跡水族館なる・休憩)→雪御所公園・昼食→石井川・天王谷川合流地点・新湊川となる→神戸新鮮市場→湊川公園(楠公像)→願成寺→厳島神社 14:00 解散→新開地

参加人数 : 29名

ひょうご観光ボランティア・ガイド4名

4班に分かれ出発

天候に恵まれた、午後から汗ばむ陽気になる

### ・福原京と平清盛

奈良時代、僧の行基は瀬戸内海に「五泊(ごともり)」と呼ばれる5つの港を築いたと伝えられます。その1つが、現在の神戸市兵庫区の地下鉄中央市場前駅近くにあった「大輪田泊(おおわだのとまり)」です

平安時代の末期、朝廷の有力者となっていた平清盛は、1161年から大輪田泊の港湾を本格的に整備しました。平清盛は中国大陸の宋(そう)との貿易に力を入れており、宋から来た大型船が停泊できるように港を拡充したのです

### ガイドよりの豆知識

・神戸平野に何故祇園・・・869年(貞観11年)、京で鴨川が氾濫し疫病が蔓延したとき、行疫神として名高い素戔鳴尊を姫路の広峯神社より北白川瓜生山の東光寺に勧請することとなった。その時、広峯社の神輿が平野の地で一泊した地に社殿を建て、分霊を崇め奉ったところが祇園神社創建の由来とされている。素戔鳴尊は仏教で祇園精舎の守護神とされている牛頭天王と同一視されたため、祇園神社はまた天王社とも呼ばれた。広峯社から東光寺に勧請された牛頭天王の分霊は、のちに八坂の地に遷宮され「祇園感神院」(現在の八坂神社)となった。ただし現在、八坂神社は広峯社を祇園神の本社とする主張を否定している。

・湊川小学校跡地水族館・・・令和4年7月1日にグランドオープンしたNATURE STUDIO。村上工務店が学び舎のテイストを残しつつ旧湊山小学校をリノベーションした。自然と気軽にふれあえるこの新スポットの中の施設、みなとやま水族館の人气が沸騰している。

「生きものと語ろう」をコンセプトに、約200種類のさまざまな生物と一緒に時間を過ごせる工夫がいろいろ。水槽の前には椅子やクッションを用意、靴をぬいで上げられるスペースもあり、じっくりとその不思議な生態を観察すると時が経つのを忘れそうだそうです。

・京都の鴨川と同じ・・・石井川と天王谷川の合流地から新湊川

賀茂川と高野川の合流地点から鴨川

・湊川公園・・・1901年(明治34年)、それまで巨大な天井川として兵庫(江戸時代までの中心地)と居留地周辺(明治以降の中心地)とを往き来する障壁となり、度重なる水害の原因ともなっていた湊川が改修され、旧流路が廃川となりました。この廃川を埋めてつくられたのが湊川公園です。

・湊川水路・・・湊川は昔、石井川と天王谷川の合流点付近から現在の湊川公園を経て、新開地方面へ流れていましたが、天井川で堤防が高く、神戸と兵庫が2つに分かれ交通の便が悪くなったこと、神戸港が土砂に埋まってしまうこと、さらに洪水被害がたびたび発生することなどの理由で、現在の湊川に付け替えられました。

・平氏と平家・・・平氏という言い方は平姓の者すべてを指し、天皇家の分家の子孫、これに対

して平家は、平清盛一門のことを指します。つまり平氏の中に、平家と呼ばれる一門がいた



出発



大倉山・伊藤博文台座



荒田八幡神社



浄海平清盛像の説明文



祇園神社



祇園神社より神戸の街一望



湊山温泉かつては湯治も



雪御所跡地



三川合流地



東山商店街



湊川公園より三宮方面を望む



湊川公園・楠木正成公像



巖島神社



お疲れ様でした 8Km・16,000歩





写真提供・松田さん有難う御座いました

責文 花島